

【重要】

「学生支援緊急給付金給付事業」の今後の検討に向けた調査について御案内させていただきます。

事 務 連 絡
令和2年10月30日

各都道府県教育委員会専修学校所管課
各都道府県専修学校所管課
専修学校を置く国立大学法人担当課 御中
厚生労働省医政局医療経営支援課
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課

文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課

学生支援緊急給付金（「学びの継続」のための『学生支援緊急給付金』）
について（依頼）

平素は文部科学行政に格別の御高配を賜り、誠にありがとうございます。

今般の新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、新たに創設された学生支援緊急給付金給付事業（令和2年5月19日閣議決定）については、各大学等にご協力をいただきながら、これまで約42万人の学生等に支援を行ってまいりました。

文部科学省では現在、過去に申請し選考外となったが、その後要件を満たした者等への対応について検討しております。その検討のため、下記の事情がある専修学校専門課程（以下、「専門学校」という。）がある場合には、本件について、御周知いただくと共に、当該専門学校から文部科学省宛てに直接御連絡いただきますよう御案内願います。

各都道府県におかれては所轄の専門学校に対して、各都道府県教育委員会に置かれては所管の専門学校に対して、国立大学法人におかれてはその設置する専門学校に対して、厚生労働省におかれては所管の専門学校に対して、本件について必ず周知されるようお願いします。

記

以下内容に該当する生徒がいる専門学校については、文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室（kyuhugata-senkaku@mext.go.jp）に御連絡ください。

専門学校において推薦すべきと判断した生徒が全て推薦済みであれば、御連絡いただく必要はありません。

【対象】

- ・推薦時に対象外とした生徒の中で、その後の家計急変等によって要件を満たすことになったと判断される生徒が在籍している。
- ・これまでの推薦において10万円の支給が完了した生徒の中で、その後、20万円支給の対象者（非課税世帯）であることが判明した生徒が在籍している。
- ・学校の事務手続きの誤りによって、追加推薦のための状況調査に回答できおらず、保留者として推薦が完了していない生徒がいる。

【提出期限】

令和2年11月16日（月）12時（厳守）

※上記期限までにメールをいただいた専門学校に対して別途、対象者数等の詳細な調査を11月25日（水）正午締切で実施させていただきます。上記期限までに回答のない学校については対象者がいないものとして扱わせていただきます。

【連絡先】

以下のアドレスにメールにて御連絡ください。

kyuhugata-senkaku@mext.go.jp

【メール本文記載内容】

以下の内容をメール本文に記載してください。

- ・学校名
- ・日本学生支援機構の給付・貸与の奨学金で利用している「学校番号」
- ・対象者の人数、その状況を簡潔に記載してください。
- ・担当者連絡先（電話番号、メールアドレス）

※メール件名は必ず以下の通りとすること。

件名：「都道府県名・学校名・専門学校生に対する緊急給付金対象者について」

※法人でまとめて御連絡いただく場合には、件名には学校威名でなく法人名を記載し、メール本文にそれぞれの学校名、学校ごとの対象者の人数、その状況を記載してください。

【留意点】

- ・新規で募集することは想定していません。
- ・本事務連絡と並行して、各専門学校の「送金件数一覧表」が日本学生支援機構より別途、各専門学校に直接郵送されますので参考としてください。

(本件問合せ先)
文部科学省総合教育政策局生涯学習推進課
専修学校教育振興室

e-mail: kyuhugata-senkaku@mext.go.jp

※ お問合せは、メールにてお願いします。

※ メールの件名に【学校名】を記載ください。